

文化館の感染症対策

・館内放送などを通じて、文化館全体で時間を決めた換気を行いそれを文化館部門の生徒が確認をする

・来場者の方々の入退場時間を決めて密にならないような環境づくりを行ったり、定期的な時間を決めて来場者の入れ替えを行い同じ観客が何時間もその場にはいないような対策を行ったり、受付で人数に制限をかけ少人数で文化館の展示を楽しんでもらう。

・常時、人と人との距離を保つように

・定時でのイベント事などがある場合（映画研究会や演劇部、天文部など）団体ごとにイベントの開催時間などをずらしてもらいような調整を行って一度に多くの来場者が入らないようにする

・参加団体に当日運営を行う生徒の人数の上限を定めて、教室内が密にならないようにする（一団体運営生徒、4から5人目安）

・教室内での飲食を禁止とする

・来場者の方々が静かに観覧できるような環境設定を行う

（生徒同士の会話を極力減らす、動画などを流して来場者との関わりを極力減らすなど）

・来場者に検温、手洗い、消毒の義務を設ける

・来場者の行動経路を追えるよう、学内の生徒などであれば「学籍番号、氏名、携帯の電話番号」などの基本的な情報をそれぞれの団体ごとで確認してもらうことに、加え可能であれば出席確認システムと併用して経路を追う

また、学外の人間を入れるのであれば最低限度の情報を基に経路の確認を出来る限り行っていく

・受付業務の際などに、パーテーションや消毒用アルコール、検温するための体温計などを準備して感染防止対策を行う

・列に並ぶ場合など養生テープで待機する場所を示したり、待機用のいすを間隔を取って配置をして密を防ぐ

・企画などで使用した物品について、使用後の物品消毒と団体の手洗い・消毒を徹底する

・控室として、文化館の教室を使う団体に関して対面での飲食や会話を回避するように心掛け常時人と人との距離が保たれるようにテーブルにパーテーションなどを置いて、距離の調整をする、使用する場合には常時換気を行い使用したテーブルや椅子などの消毒を定期的に行う

・来場者自身で自宅での検温を行ってもらい、発熱がある場合には自宅待機していただく

・搬入などに関わる者を各団体それぞれが選定し、不特定多数の人との関わりを避ける

・トイレの利用などに関しても、参加団体との協議を踏まえて来場者等の混雑を緩和できるような時間（休憩時間など）を決める

・パンフレットやチラシなどの配布物の配布は、極力手渡しなどは控える

などの感染症対策をもって、文化館の運営を行っていきたいと考える。